

グローバルにいがた @世界の街

アブダビ

月曜掲載



アラブ首長国連邦(UAE)のアブダビ日本人学校に赴任して1年半。砂塵が飛ぶ日もありますが、ほとんどが好天で、今年の降雨はわずか数回ほど。夏は刺すような日差しでしたが、10月に入りだいぶ過ごしやすくなりました。

日常生活では母語のアラビア語だけでなく英語での会話や表記が行われており、助かっています。街で会う人々の多くは、人口の90%を占める外国籍です。10%にあたるUAE国籍の人々(エミラティ)は、それぞれ伝統衣装の男性は白いカンドウラ、女性は黒い

滝澤 富明さん

新潟市北区出身



多文化共生 砂漠の首都

アバヤ姿の方が多いです。

街には白いモスクが数多く見られ、モスクのスピーカーからは信徒に礼拝の時刻を呼びかけるアザーンが時間になると流れます。モスクに入りきれない信者が道路に

あふれ、履物を脱ぎ、熱心に地面に伏して祈っている光景も見られます。

心に学んでいます。日本人の児童生徒、教職員にとっては異文化理解の毎日です。

UAEは石油産出国として有名です。2024年の日本の石油輸入国1位はUAEで、商社や石油・天然ガス関連の日本企業の人たちが活躍しています。街を走るタクシーやマイクロバス、スポーツタイプ多目的車(SUV)の多くは日本車で、日本とのつながりが強い国です。

これからの季節は、郊外の砂漠でのキャンプを楽しむことができます。タイヤの空気を半分ほど抜いて、SUV車で砂漠を走行します。夜空の星を楽しめるキャンプは格別です。

もうすぐ12月2日は建国記念日です。中東地域、イスラム圏のUAEは多文化共生の国。アブダビは治安がよく住みよい街です。

(滝澤さんは1966年生まれ。新潟市北区出身。2024年からアブダビ日本人学校に勤務しています)

アブダビ日本人学校は、現地国民の児童生徒を公的に受け入れています。エミラティの児童生徒が30人在籍しており、日本のカリキュラムで、日本語で学んでいます。

本場にすごいと思うのですが、彼らはアラビア語、英語、日本語を話せます。UAEと日本の架け橋となるべく、日本人とともに熱

砂漠を開発し、高層ビル群がそびえるUAEの首都アブダビ

海外で暮らす本県関係者が現地の様子を紹介します。ウェブサイトに新潟日報デジタルプラスにも掲載。執筆希望も受け付けています。

